アニメに競砂地界建

1970年代に放映された「アルプスの少女ハイジ」は、19世紀スイスのヨハンナ・シュピーリの小説を題材とした日本のアニメです。この作品の設定には、スイスの歴史的な経緯が数多く組み込まれています。また原作とアニメの間にある相違点には、日本の西洋文化受容のあり方が反映されています。

「ハイジ」を注意深くみることによって、歴史に対する理解を深め、日本文化の特質について考えることができます。

アニメという身近なもののなかにも、 知的発見の手がかりが隠されていることを 共に実感しましょう。





日程

12.17 水

10:00~11:30

会場

三木市緑が丘町公民館 (三木市緑が丘町中3丁目 38番地)

定員

10名 (予約制/先着)

費用

参加無料

申込期間

11/4(火)~11/28(金) メールに記載のURLより 申込をお願いします。

講師

兵庫教育大学大学院 学校教育研究科

もりた たけし

教授。

森田

猛

兵庫教育大学 社会連携センター 0795-44-2409

お問い合わせ